

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	仁愛看護福祉専門学校
設置者名	学校法人 温知会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数 又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護科	夜・通信	63 単位	9 単位	
教育・社会福祉課程	介護福祉科	夜・通信	67 単位	6 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバス集（教育目標・内容、教科担当教員名）を学生に配布している。
ホームページ <http://jinai-senmon.jp/> に公表

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	仁愛看護福祉専門学校
設置者名	学校法人 温知会

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ <http://jinai-senmon.jp/> に公表

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	病院事務長	2020.6.1 ～ 2024.5.31	財務
非常勤	病院長	2020.6.1 ～ 2024.5.31	人事
非常勤	医師	2020.6.1 ～ 2024.5.31	学生募集
非常勤	建設会社社長	2020.6.1 ～ 2024.5.31	財務
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	仁愛看護福祉専門学校
設置者名	学校法人 温知会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画は、科目担当者の要件を満たす教員、講師等が見直しを行い、教育課程に基づき、シラバス集を 3 月に作成している。シラバスには、担当（実務経験を有する）教員名、単位数、学習内容、学習目標、評価方法、資料、テキストなどが明記されている。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>学生、教職員（非常勤講師を含む）に配布している。ホームページ http://jinai-senmon.jp/ に公表</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則第 10 条に基づき、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学業成績は、筆記試験・レポート試験・口述試験・実技試験および平常の学習態度・出席状況を総合して教科担当教員が判定する。 2 各授業科目につき、その授業実施数の 3 分の 2 以上出席しなければ、その授業科目の学業成績は判定しない。但し、臨地実習については、看護科は授業実施数の 3 分の 2 以上、介護福祉科は授業実施数の 5 分の 4 以上出席しなければ、その臨地実習の学業成績は判定しない。臨地実習において、傷病その他やむを得ない事由と認められた場合は本人からの申請により補充実習を行うことがある。 	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、A、B、C、Dの4つに区分し、</p> <p>A 80～100点 B 70～79点 C 60～69点 D 60点未満</p> <p>履修科目の成績評価を点数化(100点満点)し、全科目の合計点の平均を算出する。</p> <p>D評価(60点未満)の場合、科目担当教員の判断により、1回に限り、再試験を許可し、再試験手続きを経た者に実施することができる。</p> <p>所定の科目を履修し、試験に合格した者に対し、単位認定会議を経て、校長が所定の単位を認定する。</p>																							
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ http://jinai-senmon.jp/ に公表																						
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則第19条に基づき、</p> <p>1 本校の看護科は3年以上、介護福祉科は2年以上在学し、第9条に規定する科目を履修し、次のとおり必要な単位を修得した者で、卒業判定会議の議を経て、校長が卒業を認定する。</p> <p>(看護科)</p> <table border="1"> <tr> <td>基礎分野</td> <td>専門基礎分野</td> <td>専門分野Ⅰ</td> <td>専門分野Ⅱ</td> <td>統合分野</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>23</td> <td>14</td> <td>42</td> <td>13</td> <td>105単位</td> </tr> </table> <p>(介護福祉科)</p> <table border="1"> <tr> <td>人間と社会</td> <td>介護</td> <td>こころとからだのしくみ</td> <td>医療的ケア</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>43</td> <td>20</td> <td>3</td> <td>82単位</td> </tr> </table> <p>2 校長は卒業を認定した者に卒業証書を授与する。</p> <p>3 前項により卒業を認定した者には、次のとおり専門士の称号を授与する。</p> <p>(1) 医療専門課程の看護科において、卒業を認定した者には専門士(医療専門課程)の称号を授与する。</p> <p>(2) 教育・社会福祉専門課程の介護福祉科において、卒業を認定した者には専門士(教育・社会福祉専門課程)の称号を授与する。</p>		基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野	合計	13	23	14	42	13	105単位	人間と社会	介護	こころとからだのしくみ	医療的ケア	合計	16	43	20	3	82単位
基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野	合計																		
13	23	14	42	13	105単位																		
人間と社会	介護	こころとからだのしくみ	医療的ケア	合計																			
16	43	20	3	82単位																			
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページ http://jinai-senmon.jp/ に公表																						

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	仁愛看護福祉専門学校
設置者名	学校法人 温知会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ http://jinai-senmon.jp/ に公表
収支計算書又は損益計算書	ホームページ http://jinai-senmon.jp/ に公表
財産目録	ホームページ http://jinai-senmon.jp/ に公表
事業報告書	ホームページ http://jinai-senmon.jp/ に公表
監事による監査報告（書）	ホームページ http://jinai-senmon.jp/ に公表

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門	看護科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	105 単位	76 単位	3 単位	24 単位	0 単位	2 単位
			105 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		98 人	0 人	8 人	66 人	74 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画は、科目担当者の要件を満たす教員、講師等が見直しを行い、教育課程に基づき、シラバス集を3月に作成している。</p> <p>シラバスには、担当（実務経験を有する）教員名、単位数、学習内容、学習目標、評価方法、資料、テキストなどが明記されている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価は、A、B、C、Dの4つに区分し、</p> <p>A 80～100点</p> <p>B 70～79点</p> <p>C 60～69点</p> <p>D 60点未満</p> <p>D評価（60点未満）の場合、科目担当教員の判断により、1回に限り、再試験を許可し、再試験手続きを経た者に実施することができる。</p>

<p>所定の科目を履修し、試験に合格した者に対し、単位認定会議を経て、校長が所定の単位を認定する。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要)</p> <p>進級の認定基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 履修すべき単位（科目）をすべて取得した者 <p>校長が指定の単位を取得した者に対して、単位認定会議の議を経て進級を認定する。</p> <p>卒業の認定基準</p> <p>3年以上在学し、学則第9条に規定する科目を履修し、必要な単位を修得した者で、卒業判定会議の議を経て、校長が卒業を認定する。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>1年次より看護師資格取得に向けて、個別指導を行っている。特に、放課後や土曜日に看護技術の自主練習を行ったり、3年次には、毎週土曜日人数を決めて個別の受験指導を行っている。</p>

<p>卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</p>			
<p>卒業生数</p>	<p>進学者数</p>	<p>就職者数 (自営業を含む。)</p>	<p>その他</p>
<p>29人 (100%)</p>	<p>0人 (0%)</p>	<p>29人 (100%)</p>	<p>0人 (0%)</p>
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>医療福祉系 主に病院</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>1年次から学生の進路について面接を行い、3年次には、年度始めから個別面談を定期的実施して、就職希望先、進学的意思決定を行っている。就職の場合は、就職希望先の決定に伴い、面接・小論文指導など就職試験までの支援を行っている。</p> <p>進学においては、進学校の決定に基づいて、入試までフォローを行う。</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護師国家試験受験資格取得 専門士（医療専門課程）の称号 			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
103 人	5 人	4.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更または学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> 定期的なカウンセリングの実施（月 2 回） 進路に向けての 3 年生基礎補習（土曜日午前実施） 放課後の校内カンファレンス（ふりかえり） 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉	介護福祉	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	82 単位	68 単位	4 単位	10 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			82 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		13 人	0 人	4 人	11 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 授業計画は、科目担当者の要件を満たす教員、講師等が見直しを行い、教育課程に基づき、シラバス集を 3 月に作成している。 シラバスには、担当（実務経験を有する）教員名、単位数、学習内容、学習目標、評価方法、資料、テキストなどが明記されている。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価は、A、B、C、D の 4 つに区分し、 A 80～100 点 B 70～79 点 C 60～69 点 D 60 点未満 D 評価（60 点未満）の場合、科目担当教員の判断により、1 回に限り、再試験を許可し、再試験手続きを経た者に実施することができる。 所定の科目を履修し、試験に合格した者に対し、単位認定会議を経て、校長が所定の単位を認定する。

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>進級の認定基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 履修すべき単位（科目）をすべて取得した者 <p>校長が指定の単位を取得した者に対して、単位認定会議の議を経て進級を認定する。</p> <p>卒業の認定基準</p> <p>2年以上在学し、学則第9条に規定する科目を履修し、必要な単位を修得した者で、卒業判定会議の議を経て、校長が卒業を認定する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>1年次から介護福祉士の資格取得に向けて個別の指導を行っている。特に、実習後の振り返りの指導を放課後に行ったり、2年次には、長期の休みを利用し、受験対策の指導を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	8人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 医療福祉系 主に病院・施設等			
(就職指導内容) 1年次から学生の進路について面接を行い、2年次には、病院・施設等の就職説明会を実施して、就職希望先、進学的意思決定を行っている。 就職希望先の決定に伴い、面接・小論文指導など就職試験までの支援を行っている。 進学においては、進学校の決定に基づいて、入試までフォローを行う。			
(主な学修成果（資格・検定等）) <ul style="list-style-type: none"> 介護福祉士国家試験受験資格取得 専門士（教育・社会福祉課程）の称号 			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	3人	20%
(中途退学の主な理由) 進路変更または学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生が少ないので、学生1人ひとりと緊密に連絡をとりあい、定期・不定期に個別の面談を実施して、学生に寄り添った指導を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護科	200,000円	420,000円	299,000円	実験実習費、教科書、教材等
介護福祉科	300,000円	420,000円	250,000円	実験実習費、教科書、教材等
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ http://jinai-senmon.jp/ に公表
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
1 構成 学校評価委員会 校長 (委員長)、副校長 (副委員長)、委員 (4名) の6名 外部からの委員4名は、卒業生、保護者、その他教育に関する有識者の中から校長が委嘱する。
2 実施時期 年2回 (9月、3月) 予定
3 評価項目
① 学校経営
② 教育課程・教育活動
⑤ 管理運営・財政
⑥ 施設・設備

③ 入学・卒業・進路 ④ 学生生活への支援 4 評価結果の活用 学校評価委員から出された評価結果、意見などと学校評価（自己評価）の結果を踏まえて、学校運営の改善に取り組んでいる。また、保護者からの意見なども学校経営に反映させるよう努めている。	⑦ 教職員の研修 ⑧ 広報・地域との連携	
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
看護師	1年	卒業生
看護師	1年	卒業生
自営	1年	保護者
障がい者施設	1年	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ http://jinai-senmon.jp/ に公表		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ http://jinai-senmon.jp/ に公表
